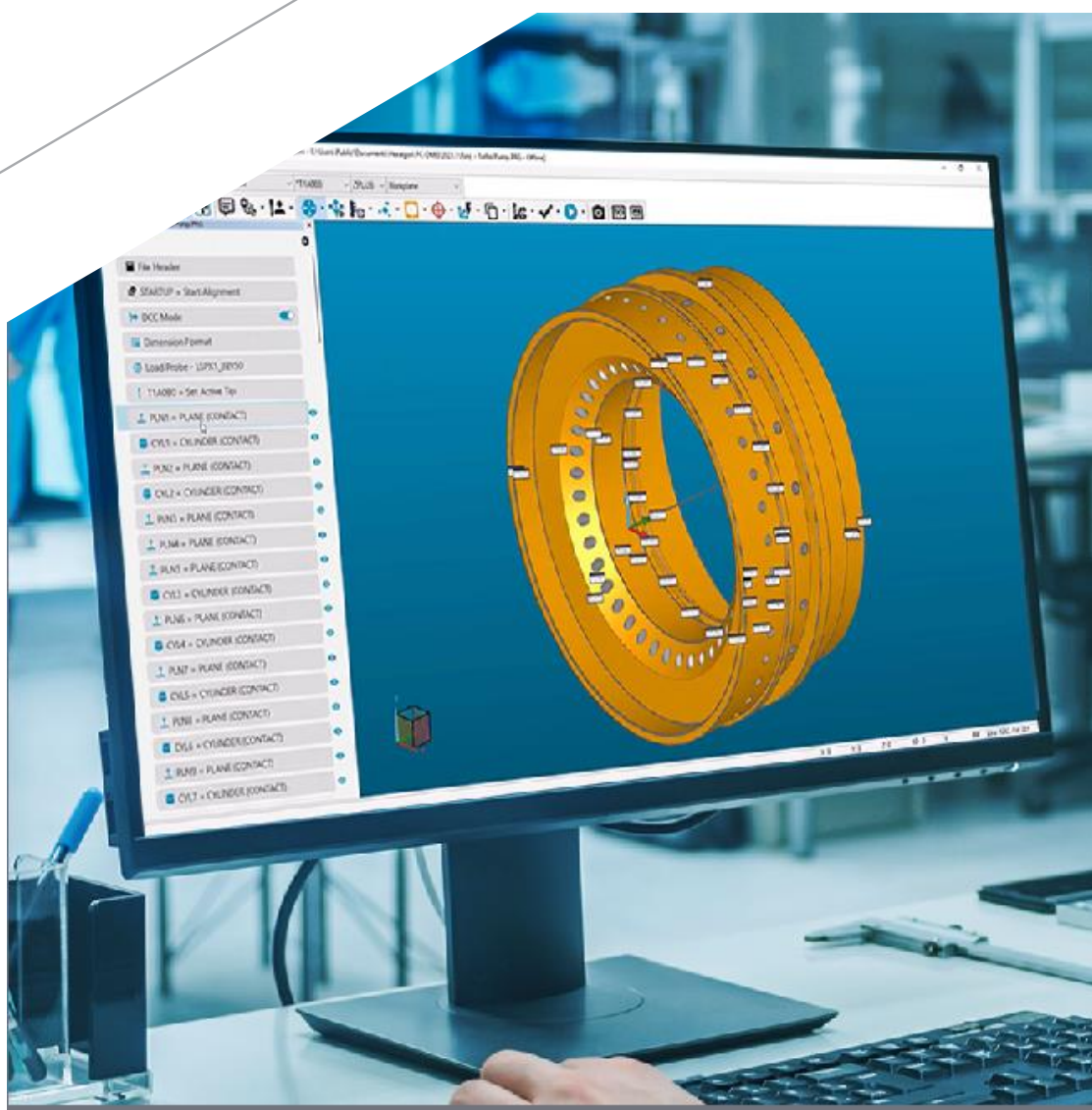


PC-DMIS Log Viewer マニュアル

2026.2



著作権とライセンス

このドキュメントは著作権で保護されています。詳細については、このドキュメントと同じフォルダにある「[著作権、商標、および法的情報.pdf](#)」を参照してください。

目次

Log Viewer	7
Log Viewer メイン画面	7
ヘルスマニター	20
詳細設定ツール	22
仕様	36
付録 A - トレイメニュー	39
索引	41

Log Viewer

Log Viewer は PC-DMIS と一緒にインストールされるデバッグアプリケーションです。これはアプリケーションエンジニアと開発者が PC-DMIS および Hexagon アプリケーションからの診断情報を収集、表示および分析して、トラブルシューティングおよび共同デバッグを行うのに役立ちます。

PC-DMIS をインストールした後、またはコンピュータを再起動した後、Log Viewer は自動的に起動し、バックグラウンドで動作します。Log Viewer のアイコンが Windows 通知エリア(システムトレイ)に表示され、ユーザーは Log Viewer ウィンドウを開き、設定にアクセスしたり、サービスを開始および停止することができます。Log Viewer ウィンドウを開くと、リアルタイムでのデバッグメッセージ表示、プロセスリソース使用率のモニター、通信データの取得、問題レポートの作成および保存されているログファイルの分析を行うことができます。

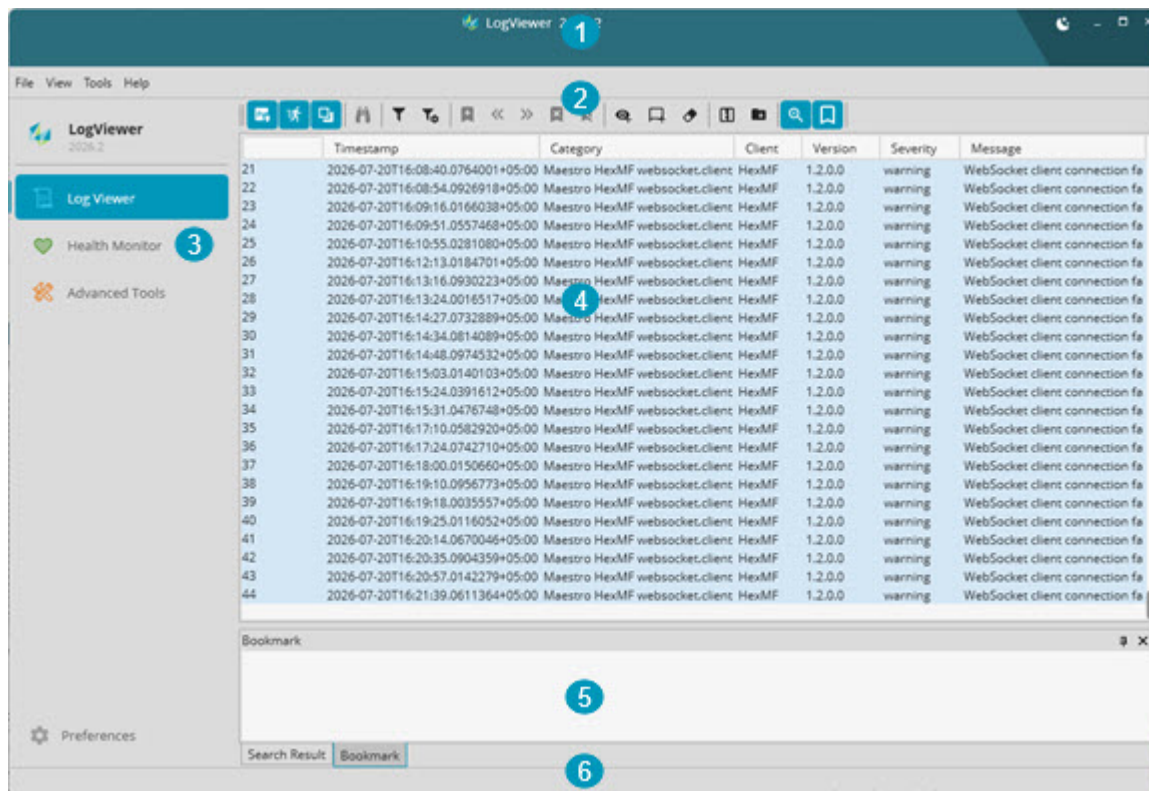
Log Viewer のアプリケーションには以下のモジュールがあります：

- **Log Viewer** - PC-DMIS およびその他の Hexagon アプリケーションからのデバッグメッセージをリアルタイムで表示します。また、CPU 使用率、メモリ使用率、処理カウント、GDI オブジェクトおよびその他のプロセス情報をモニターすることができます。
- **ポートリスナー** - 指定されたポートを監視し、ソフトウェアとサポートされたハードウェアコントローラ間で交換される通信パケットを取得します。
- **問題レポート** - トラブルシューティング向けに、PC-DMIS 診断情報を単一パッケージに収集します。
- **Log Parser** - オフライン検索、フィルタリングおよび分析向けに保存されたログファイルを開きます。

ドキュメントには Log Viewer アプリケーションの使用方法ならびに診断情報の収集、表示および分析のためのツールについて記載されています。

Log Viewer メイン画面

Log Viewer メイン画面は下記セクションから成ります：

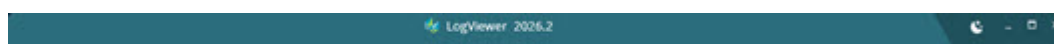


Log Viewer メイン画面

1. タイトルバーエリア
2. メニューおよびツールバーエリア
3. ナビゲーションペイン
4. メッセージログ表示エリア
5. タブエリア
6. Log Viewer ステータスメッセージエリア

Log Viewer ドキュメントの本セクションは、Log Viewer メイン画面の様々なエリアについて記載しています。

タイトルバーエリア



Log Viewer のタイトルバーエリア

アプリケーションの名前およびバージョンはタイトルバーの中央に表示されます。

下記のオプションはタイトルバーの右側にあります：



テーマ ボタン - このボタンをクリックしてライトテーマとダークテーマ間で切り替えます。

 **最小化、最大化** および **閉じる** ボタン - これらは標準の Windows ボタンで、これを使ってアプリケーションを最小化、最大化および閉じることができます。

メニューおよびツールバーエリア

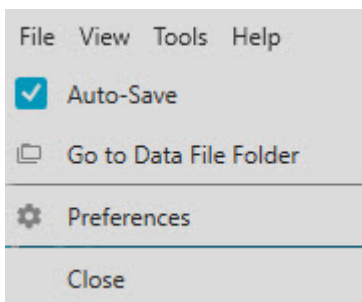


Log Viewer のメニューおよびツールバーエリア

メニューエリア

Log Viewer のメニューは下記のオプションから成ります:

ファイル



ファイルメニューオプション

自動保存 - このオプションを選択して、自動保存機能をオンおよびオフします。このオプションをオンに設定すると、Log Viewer はメッセージログを.json ファイルとして下記のフォルダーに保存します:

"C:\Users\<username>\AppData\Local\Hexagon\LogViewer_Logs"

Log Viewer が各メッセージログデータを.json ファイルでフォーマットする方法の例を下記に示します:

```
{
  "原点": {
    "clientName (クライアント名)": "PCD",
    "カテゴリ": "計測学",
    "バージョン": "2025.1",
    "タグ": "機械1"},
  "タイムスタンプ": "2025-01-23T15:01:57.0125178+08:00",
  "重要度": "情報",
  "メッセージ": "アーム 1 でアクティブプローブを 5ddd6bb8(SMARTSCAN) から 0 に設定(??), レベル 0 modalsettings=32629130 calling_location_flag=1773391\n"}
}
```

データはフォーマットされます。ここで、"クライアント名"、"カテゴリ"、"バージョン"、"タグ" および "重要度" フィールドは Log Viewer がモニターされているアプリケーションからログメッセージを受信するときユーザーがカスタマイズできる情報を定義します。

クライアント名 - このフィールドは Log Viewer がモニターするソフトウェアまたはアプリケーションのモジュールの名前を定義します。

カテゴリ - このフィールドは大きな分類範囲から成り、Log Viewer がモニターするアプリケーションによって異なります。

バージョン - このフィールドは Log Viewer がモニターしているソフトウェアのバージョンを定義します。

タグ - このフィールドは Log Viewer がモニターしているアプリケーションに関連する各種の情報を定義します。

タイムスタンプ - このフィールドは Log Viewer がモニターされているアプリケーションからのメッセージを受信した正確な日付および時刻を定義します。

重要度 - このフィールドはメッセージが情報に関するもの、警告またはエラーであるかどうかなどの情報を定義します。

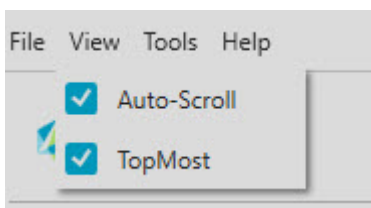
メッセージ - このフィールドは Log Viewer がモニターされているアプリケーションから受信した生のメッセージログを定義します。

データファイルフォルダーに移動する - このオプションを選択して、Log Viewer のログファイルを含むフォルダーの場所へのファイルエクスプローラウィンドウを開きます。

ユーザー設定 - このオプションを選択して、[ユーザー設定] ページを開きます。
[ユーザー設定] ページについて詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[ユーザー設定](#)」トピックを参照してください。

閉じる - このオプションを選択して、Log Viewer アプリケーションを終了します。

見る

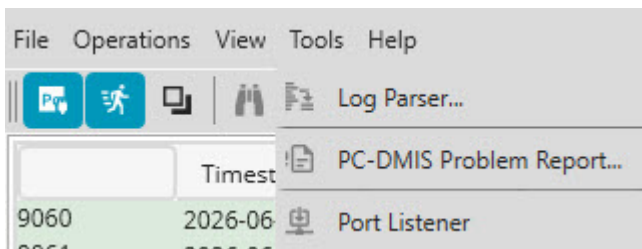


メニューオプションの表示

自動スクロール - このオプションを選択すると、Log Viewer はログメッセージの一覧を連続的にスクロールして、直近のログメッセージが一覧の最上部に表示されるようにします。

最上部 - このオプションを選択すると、Log Viewer ウィンドウがディスプレイの表示の最上部に表示されたままになります。これで Log Viewer 画面は他のアプリケーションウィンドウに隠されません。

ツール



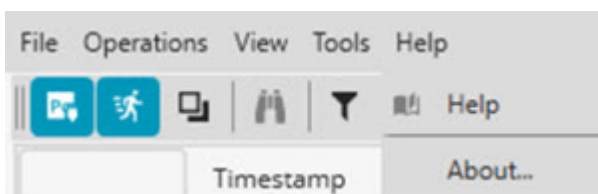
ツールメニューオプション

Log Parser - このオプションをクリックして Log Parser ツールを実行します。Log Parser ツールを使用して、一つまたは複数の Log Viewer ログファイルを解析します。フィルターはログメッセージで使用できます。これによって不要な情報を除外して、分析に必要なデータのみ集中できます。Log Parser ツールについて詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[Log Parser](#)」トピックを参照してください。

PC-DMIS 問題レポート - このオプションをクリックして、**[PC-DMIS 問題レポート]** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスを使用して、選択された PC-DMIS レポートファイルを将来の分析用に zip 圧縮して保存します。PC-DMIS 問題レポートツールについて詳しくは、Log Viewer ドキュメントの「[PC-DMIS 問題レポート](#)」トピックを参照してください。

ポートリスナー - このオプションをクリックして、**[ポートリスナー]** ダイアログボックスを開きます。ポートリスナーツールは、選択されたネットワークインターフェイスの指定されたポート上のソフトウェアとハードウェアコントローラ間のデータ通信をモニターするのに使用できるユーティリティです。これはソフトウェアとハードウェアコントローラ間の通信パケットを取得し、ログメッセージとして Log Viewer に追加し、ユーザーがそれらを PC-DMIS のログメッセージと一緒に分析できるようにします。ポートリスナーツールについて詳しくは、Log Viewer ドキュメントの「[ポートリスナー](#)」トピックを参照してください。

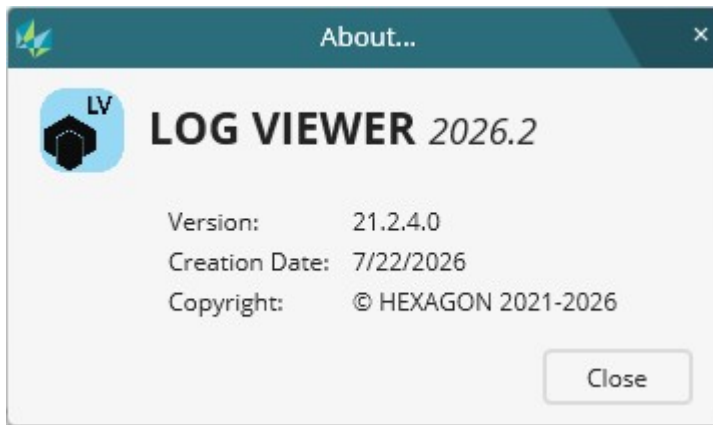
ヘルプ



ヘルプメニューオプション

ヘルプ - このオプションをクリックしてこのヘルプドキュメントを開きます。

バージョン情報 - このオプションをクリックして、**[バージョン情報]** ダイアログボックスを開きます。



ツール バー エリア

Log Viewer のツールバーは下記のオプションから成ります:



接続 / 切断ボタン - このボタンをクリックして、Log Viewer のリアルタイムロギングのオン  とオフ  を切り替えます。Log Viewer が接続され、リアルタイムメッセージログを表示すると、このオプションが**切断**として表示されます。Log Viewer が接続されないと、このオプションは**接続**として表示されます。



自動スクロールボタン - このボタンをクリックして、自動スクロールを有効にします 。これで、Log Viewer はログメッセージの一覧を連続的にスクロールして、直近のログメッセージが一覧の最上部に表示されるようにします。



最上部ボタン - このボタンをクリックして、**最上部機能**  を有効にします。この機能を有効にすると、Log Viewer ウィンドウがディスプレイの表示の最上部に表示されたままになります。これで Log Viewer 画面は他のアプリケーションウィンドウに隠されません。



検索ボタン - このオプションは切断状態でありメッセージログを収集していないときにのみ有効です。このボタンをクリックして **[検索]** ダイアログボックスを開きます。



希望の文字列を入力すると、Log Viewer はすべてのログメッセージを検索します。Log Viewer は [タブ] エリアの **[検索結果]** タブにおける検索基準にマッチする文字列を有するすべてのログメッセージを表示します。

[次を検索] オプションをクリックして、文字列にマッチする各ログメッセージを個別に表示します。

[すべてを検索する] ボタンをクリックして、マッチする文字列を含むすべてのメッセージを表示します。

チェックボックスオプションのいずれかを選択して、検索を微調整または機能強化します。



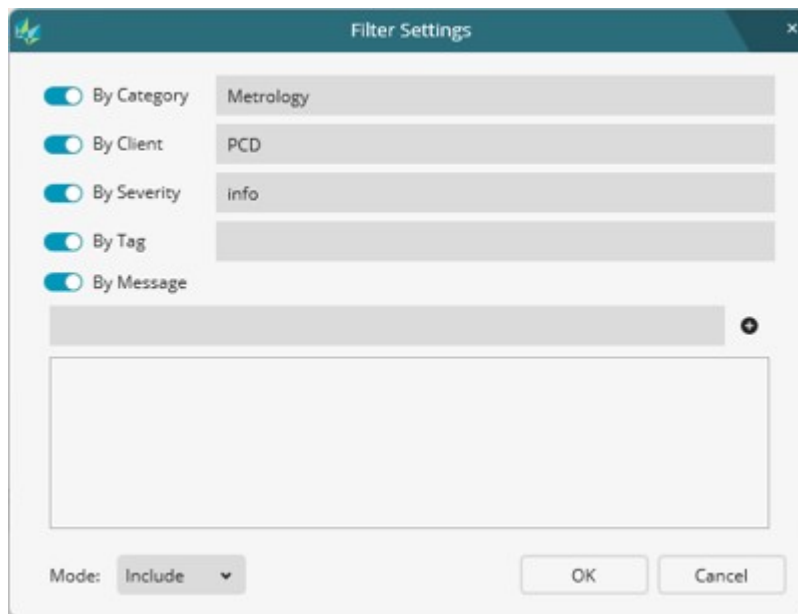
フィルターボタン - このボタンをクリックしてフィルター機能  を有効にします。この機能を有効にすると、Log Viewer は **[フィルター設定]** ダイアログボックスで定義される文字列を含む、または除外するログメッセージのみを表示します。



フィルタリングは Log Viewer で表示されるメッセージにしか影響を及ぼしません。アプリケーションは常に、完全なログデータをログファイルに保存します。



フィルター設定ボタン - このボタンをクリックして、**[フィルター設定]** ダイアログボックスを開きます。



このダイアログボックスを使用するには下記を行います：

1. **[フィルター設定]** ダイアログボックスから有効にしたいフィルターの種類をクリックします。
2. フィルターオプションを有効にしたら、それぞれの **[フィルターの種類]** ボックスでフィルタリングしたい文字列を入力します。
3. **メッセージによる** フィルタータイプの場合、フィルタリングしたい文字列を入力し、**[追加]** ボタン  をクリックして **[フィルター一覧]** エリアに追加します。好きなだけ多くの文字列で入力できます。
4. **[モード]** 一覧から **[含む]** または **[除外]** オプションを選択して、フィルタリング条件文字列を含むまたは含まないすべてのログメッセージを表示します。
5. **[OK]** をクリックしてフィルター設定を有効にするか、または **[取り消し]** をクリックしてフィルター設定を有効にしないでダイアログボックスを閉じます。

[フィルター] ボタンをクリックしてログメッセージフィルタリングが機能するようになる必要があります。



ブックマークの設定 ボタン - このオプションは切断状態でありメッセージログを収集していないときにのみ有効です。ログメッセージでブックマークを設定するには、ブックマークしたい列を選択し、このボタンをクリックします。Log Viewer はユーザーに行の前にある黄色いブックマーク記号によってブックマークした行を知らせ、ブックマークされた行を知らせます。

Log Viewer は、ユーザーがタブエリアの **[ブックマーク]** タブでブックマークするというメッセージを表示します。

下例で 731 行がブックマークされていることが分かります：

[illegible]

《 前のブックマークに移動するボタン - このオプションは切断状態でありメッセージログを収集していないときにのみ有効です。このボタンをクリックして、以前にブックマークされたログメッセージにジャンプします。



次のブックマークに移動するボタン - このオプションは切断状態でありメッセージログを収集していないときにのみ有効です。このボタンをクリックして、次のブックマークされたログメッセージにジャンプします。



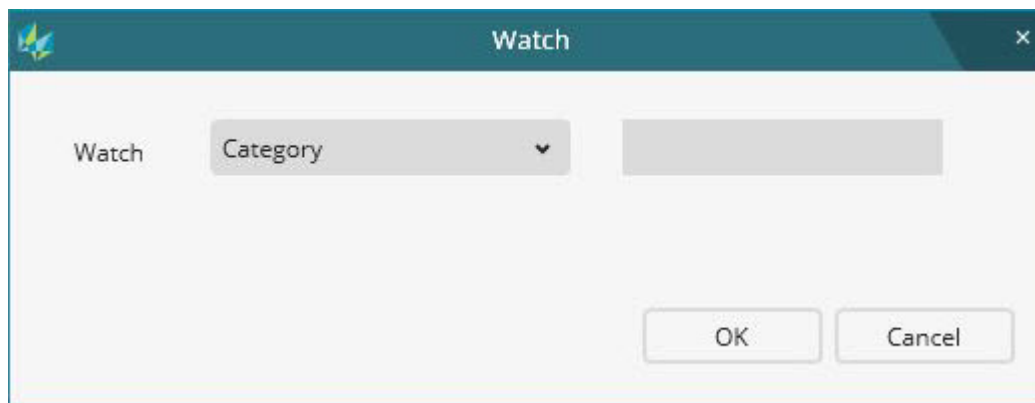
 **ブックマークの削除**ボタン - このオプションは切断状態でありメッセージログを収集していないときにのみ有効です。このボタンをクリックして、現在選択されているブックマークされたログメッセージからブックマークを削除します。この操作は永続的です。



 **すべてのブックマークを消去する** ボタン - このオプションは切断状態でありメッセージログを収集していないときにのみ有効です。このボタンをクリックして現在のログメッセージ一覧にあるすべてのブックマークを削除します。この操作は永続的です。



 閲覧を追加する ボタン - このボタンをクリックして [閲覧] ダイアログボックスを表示します。



[ウォッチ] ダイアログボックス

[閲覧を追加する] ダイアログボックスを使用して指定されたクライアント、タグまたはその他の条件に対するログを表示することができます。

これを行うには下記手順に従います:

1. ツールバーから **[ウォッチ]** ボタン  をクリックして、**[ウォッチ]** ダイアログボックスを開きます。
2. ダイアログボックスで一覧からカテゴリを選択します。オプションは次の通りです。

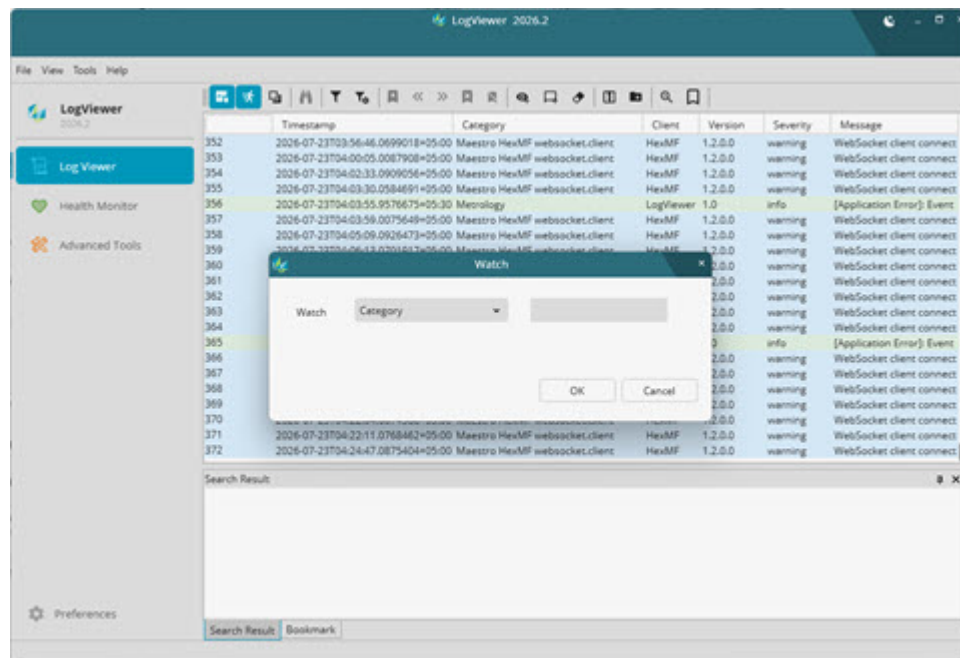
- **カテゴリ** - 閲覧したいログファイルに関連するカテゴリの名前を入力します。
- **クライアント** - 閲覧したいログファイルに関連するクライアントの名前を入力します。
- **タグ** - 閲覧したいログファイルに関連するタグの名前を入力します。
- **バージョン** - 閲覧したいログファイルに関連するバージョンの名前を入力します。
- **重要度** - 閲覧したいログファイルに関連する重要度の名前を入力します。

3. 選択された **[ウォッチ]** オプションの説明を入力します。



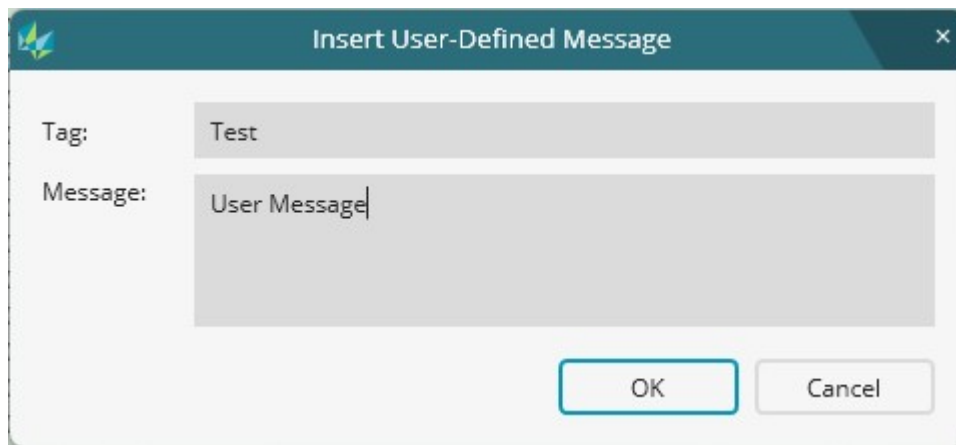
Log Viewer の **[メッセージログ表示]** エリアの該当するカラムに説明が表示されます。

4. **[OK]** ボタンをクリックして、Log View 画面の下部にカテゴリ名と説明の付いた **[ウォッチ]** タブを作成します。最大 5 つの **[ウォッチ]** タブを作成できます。

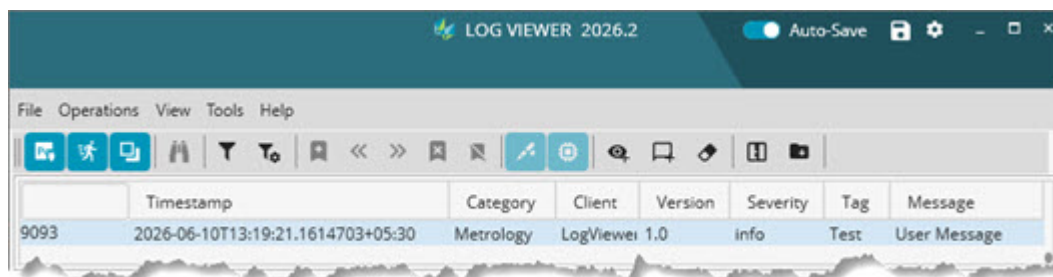


ユーザー定義のメッセージを挿入する ボタン - このボタンをクリックして任意のログメッセージにメッセージを挿入します。

1. ユーザー定義のメッセージを追加したいログメッセージを選択して**[ユーザー定義のメッセージを挿入]** ボタンをクリックします。**[ユーザー定義のメッセージを挿入]** ダイアログボックスが開きます。



2. **[タグ]** ボックスにメッセージのタグ名を入力します。
3. **[メッセージ]** ボックスにユーザーのメッセージを入力します。
4. **[OK]** ボタンをクリックしてメッセージを保存します。ここで選択されたメッセージに対するメッセージログ表示エリアの**[メッセージ]** カラムにメッセージが表示されます。



 **消去** ボタン - このボタンをクリックして Log Viewer メッセージを [メッセージログ表示] エリアから永久に消去します。

 **ログファイルの圧縮** ボタン - このボタンをクリックして、現在の日付のすべてのログファイルを zip 圧縮して保存します。また、Windows トレイメニューからこれにアクセスできます。詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[付録 A - トレイメニュー](#)」トピックを参照してください。また、この機能には **[詳細ツール]** ページからアクセスできます。詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[ログファイルの圧縮](#)」トピックを参照してください。

 **データファイルフォルダーに移動する** ボタン - このボタンをクリックして、Log Viewer のログファイルを含むフォルダーの場所へのファイルエクスプローラウィンドウを開きます。

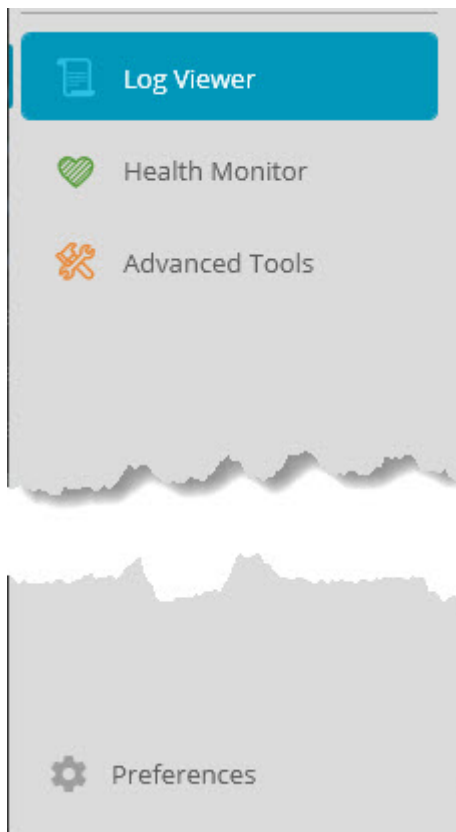
 **検索結果ウィンドウの表示** ボタン - このオプションを選択して、タブエリアで **[検索結果]** ウィンドウを表示または非表示にします。



ブックマークウィンドウの表示ボタン - このオプションを選択してタブエリアで[ブックマーク]ウィンドウを表示または非表示にします。

ナビゲーションペイン

ナビゲーションペインを使用して、Log Viewer のページおよびツールにアクセスします。



ナビゲーションペインによって以下のページにアクセスできます：

- **Log Viewer** - リアルタイムのデバッグメッセージとプロセス情報を表示します。
- **ヘルスモニター** - CPU 使用率、メモリ使用率、処理数、GDI オブジェクトおよびその他のプロセス情報をモニターします。
- **詳細ツール** - バッチエクスポート、ログ統計値、ポートリスナー、問題レポートおよび Log Parser へのアクセスを提供します。
- **環境設定** - 外観、スタートアップ動作、接続設定、ログオプションなどのアプリケーション設定を構成します。

メッセージログ表示エリア

Message Log 表示エリアはログメッセージの一覧を表示します。

	Timestamp	Category	Client	Version	Severity	Message
61	2026-06-10T19:51:09.0587680+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	Setting up flags for jump in execution to obj=a86efb58, i
62	2026-06-10T19:51:09.0587838+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	EXECLIST:CONSTRUCTOR4 current=86438d30 learn=735
63	2026-06-10T19:51:09.0587859+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	EXECLIST:execute_mode=2 already_executing=0 in_com
64	2026-06-10T19:51:09.0587875+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	update_global_parameters during execute mode 0 type
65	2026-06-10T19:51:09.0587887+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	update_global_parameters during execute mode a86eft
66	2026-06-10T19:51:09.0587900+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	CGlobalAutomationInfo::SetFlag: flag = 1; m_iAutomatev
67	2026-06-10T19:51:09.0587909+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	Enter InAutomation: in_data = 1; previous data =0
68	2026-06-10T19:51:09.0587918+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	CGlobalAutomationInfo::SetData: Data = 0; m_iAutomat
69	2026-06-10T19:51:09.0587926+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	Exit InAutomation: restoring data =0
70	2026-06-10T19:51:09.0587935+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	MSDEBBUG:SetFeature=a86efb58, id=CYL1, Arm=1, armM
71	2026-06-10T19:51:09.0587964+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	CPCDcommand(T1A0B0)::execute, stepNumber(1), mod
72	2026-06-10T19:51:09.0587987+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	SETACTIV:zhis=860bc7d0,flagword=0000000000000000C
73	2026-06-10T19:51:09.0588058+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	CPCDcommand()::execute, stepNumber(1), mode(0), sta
74	2026-06-10T19:51:09.0591230+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	EXECLIST:CONSTRUCTOR5 current=86438d30 learn=735
75	2026-06-10T19:51:09.0591273+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	EXECLIST: creating path lines
76	2026-06-10T19:51:09.0593102+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	AUTOMATION: ApplicationObjectEvents::OnUpdateStatu
77	2026-06-10T19:51:09.0593149+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	In ApplicationObjectEvents::FireEventHandler at line 8:
78	2026-06-10T19:51:09.0593162+05:00	Metrology	PCD	2026.2	info	AUTOMATION: ApplicationObjectEvents FireEventHandl

Message Log 表示エリアの例

Log Viewer は新しいメッセージを受信するとメッセージの一覧をリアルタイムで動的に更新します。上の画像における 2 個のブックマークされたメッセージが表示されており、ログメッセージをブックマークすると Log Viewer は黄色のフラグをメッセージの左に挿入します。

ヘッダー行を右クリックして、利用可能なカラムの一覧を表示します。チェックボックスを選択し、「メッセージログ表示」エリアにあるカラムを表示するか、またはチェックボックスをチェックを外して非表示にします。利用可能なカラムには、**タイムスタンプ**、**カテゴリ**、**クライアント**、**バージョン**、**重要度**、**タグ**、**コンポーネントID**、**ソースファイル名**および**行番号**などがあります。

表示エリアを自動的にスクロールするように設定して、最新のメッセージが表示されたままにすることができます。詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントにある「[メニューおよびツールバーエリア](#)」トピックを参照してください。

タブエリア

Bookmark	
330	AUTOMATION: ApplicationObjectEvents::OnUpdateStatusMessage - Msg:
352	[OverviewImage] updateOverviewImage: source -1 -> 0
375	AUTOMATION: ApplicationObjectEvents FireEventHandler Connection Count: 0
377	AUTOMATION: ApplicationObjectEvents::OnSavePartProgram - PartProgram: QF.PRQ
385	45
418	AUTOMATION: ApplicationObjectEvents FireEventHandler Connection Count: 0
439	MSDEBBUG:Settings changed from 78fadcb0 to 0 - Arm1 to Arm-1 UAR=0 Stack = 444451

Log Viewer タブエリアの例

Log Viewer のタブエリアには以下のタブがあります。タブをクリック&ドラッグして Log Viewer ウィンドウの内側または外側の任意の場所に再配置することができます。

検索結果 - このタブをクリックして、検索基準に適合するログメッセージを表示します。Log Viewer での検索の実行方法について詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[メニューおよびツールバーのエリア](#)」トピックを参照してください。

ブックマーク - このタブをクリックして、ブックマークするログメッセージを表示します。ログメッセージをブックマークする方法については、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[メニューおよびツールバーのエリア](#)」トピックを参照してください。

各タブには以下のコントロールなどがあります：

- **ウィンドウの位置** - タブウィンドウの位置を変更します。
- **非表示** - タブウィンドウを閉じます。

Log Viewer ステータスメッセージエリア

C:\Users\ \AppData\Local\Hexagon\LogViewer_Logs\2026-07-22\2026-07-22-15-47-04.txt

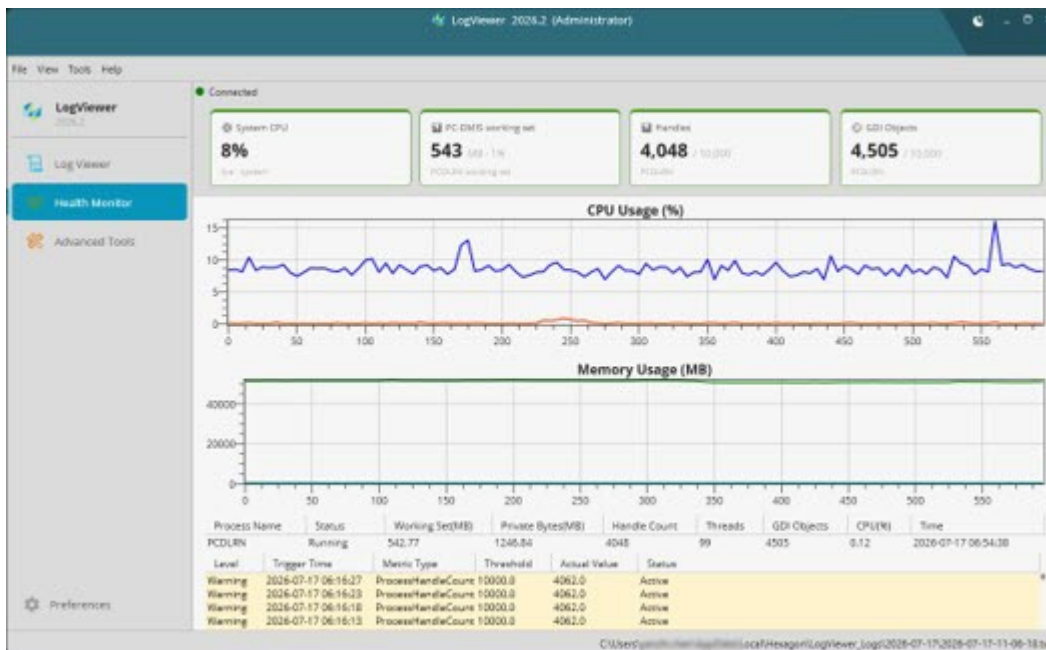
Log Viewer のステータスメッセージエリア

Log Viewer [ステータスメッセージ] エリアは、ログが自動的に保存されるファイルパスを表示します。[ステータスメッセージ] エリアは Log Viewer ウィンドウの下部に沿って存在します。

ヘルスマニター

ナビゲーションペインにある [ヘルスマニター] を選択して、ヘルスマニターページを開きます。このページは、閲覧されるプロセスのキーシステムおよびプロセスリソースメトリックス (デフォルトでは PCDLRN) をモニターします。この情報を使用して、潜在的メモリーリークを特定し、リーク、GDI オブジェクトリーク、CPU 異常および類似の問題を処理します。

ページの左上にある **接続状態** インジケータは、接続のモニタリングのステータスを表示します。



ページの上部には下記の四つのリアルタイムメトリックスが表示されます：

システム CPU - 全体的なシステム CPU の使用率を表示します。

PC-DMIS ワーキングセット - PC-DMIS のワーキングセットメモリの使用率。

処理 - 処理カウントとその設定済み上部スレッシュホルドを表示します。

GDI オブジェクト - GDI オブジェクトカウントとその設定済み上部スレッシュホルドを表示します。

このページは下記のリアルタイムチャートを表示します：

CPU 使用率 (%) - 閲覧されているプロセスおよびシステムの経時的挙動に関する CPU 使用率をグラフ化します。

メモリー使用率 (MB) - 経時的な閲覧されているプロセスのメモリー使用率をグラフ化します。

これらのチャートは時間軸に沿って更新およびスクロールされ、メトリック (指標的) な傾向およびスパイクの特定に役立ちます。

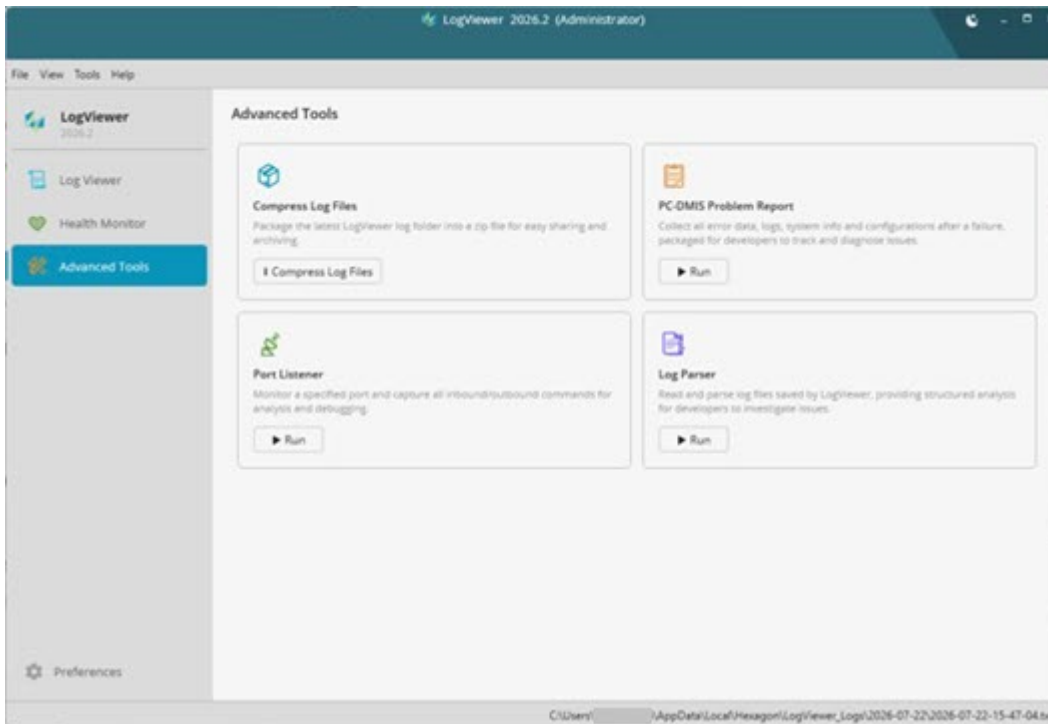
チャートの下にある表は、閲覧されているプロセスとその現在のリソース使用率のスナップショットを表示します。

Process Name	Status	Working Set(M	Private Bytes(M	Handle Cc	Threads	GDI Objects	CPU(%)	Time
PCDLRN	Running	328.27	880.61	2812	101	0	0.10	2026-07-20 07:08:27

ページ下部にある警告の一覧はメトリックがその設定済みスレッシュホルドを超過するときに生成される警告を表示します。それぞれの警告にはレベル、トリガー時間、メトリックの種類、スレッシュホルド、実際の値およびステータスなどがあります。

Level	Trigger Time	Metric Type	Threshold	Actual Value	Status
Advisory	2026-07-20 06:55:07	MemoryUsage	70.0	70.4	Recovered
Advisory	2026-07-20 06:53:22	MemoryUsage	70.0	70.3	Recovered
Warning	2026-07-20 06:36:52	ProcessHandleCount	10000.0	2810.0	Active
Warning	2026-07-20 06:36:47	ProcessHandleCount	10000.0	2810.0	Active

詳細設定ツール



ナビゲーションペインにある **[詳細設定ツール]** を選択して、**[詳細設定ツール]** ページを開きます。このページによって開発者および技術サポートスタッフ向けの下記ツールにアクセスできます。各ツールにはツール起動のための簡単な説明とボタンがあります。

- [ログファイルを圧縮する](#)
- [PC-DMIS 問題レポート](#)
- [ポートリスナー](#)
- [Log Parser](#)

ログファイルを圧縮する

ログファイルの圧縮ツールを使うと、最近の Log Viewer のログファイルフォルダーを ZIP ファイルに圧縮して、共有およびアーカイブを簡単に行うことができるようになります。

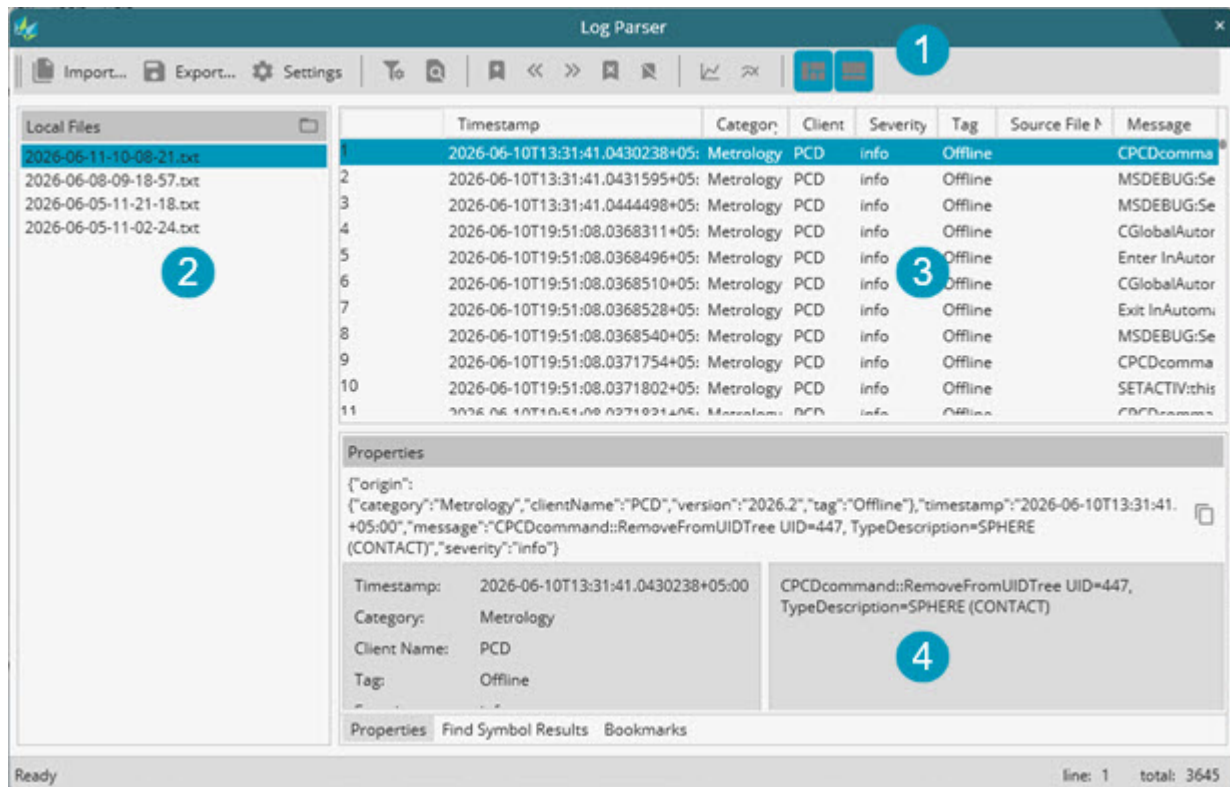
ログファイルを圧縮するには、**[詳細設定ツール]** ページの **[ログファイルの圧縮]** 下の **[ログファイルの圧縮]** を選択します。また、Log Viewer ツールバーにある **[ログファイルの圧縮]** ボタン () を選択します。

Log Parser

Log Parser は開発者が Log Viewer で作成された一つまたは複数のログファイルを解析するのに使用できるツールです。フィルターを適用して不要な情報を削除し、分析に使用するデータのみを保持することができます。Log Parser は「検索」、「すべてを検索」、「ブックマーク」などのフィルタリングをサポートします。

Log Parser ツールを起動するには、Log Viewer メニューから **[ツール | Log Parser]** を選択するか、または **[詳細設定ツール]** ページの **[Log Parser]** にある **[実行]** を選択します。

Log Parser メイン画面

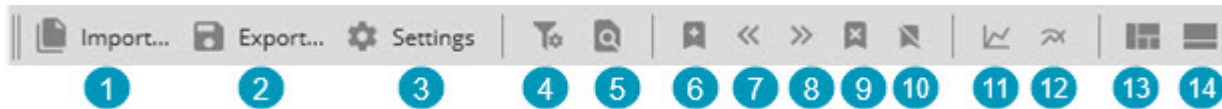


Log Parser メイン画面

1. **Log Parser タイトルバーおよびツールバー** エリア - このエリアは Log Parser タイトルバーと各種ツールバーオプションから成ります。各種 Log Parser ツールバーオプションについて詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[Log Parser ツールバーオプション](#)」トピックを参照してください。
2. **[ローカルファイル一覧]** パネル - このパネルは Log Parser ツールがデフォルトのログフォルダーで見つけたすべてのログファイルを表示します。詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[ローカルファイル一覧パネル](#)」トピックを参照してください。
3. **[ログファイルの表示]** エリア - このエリアは Log Parser ツールがデフォルトのログフォルダーで見つけたすべてのログファイルの詳細を表示します。

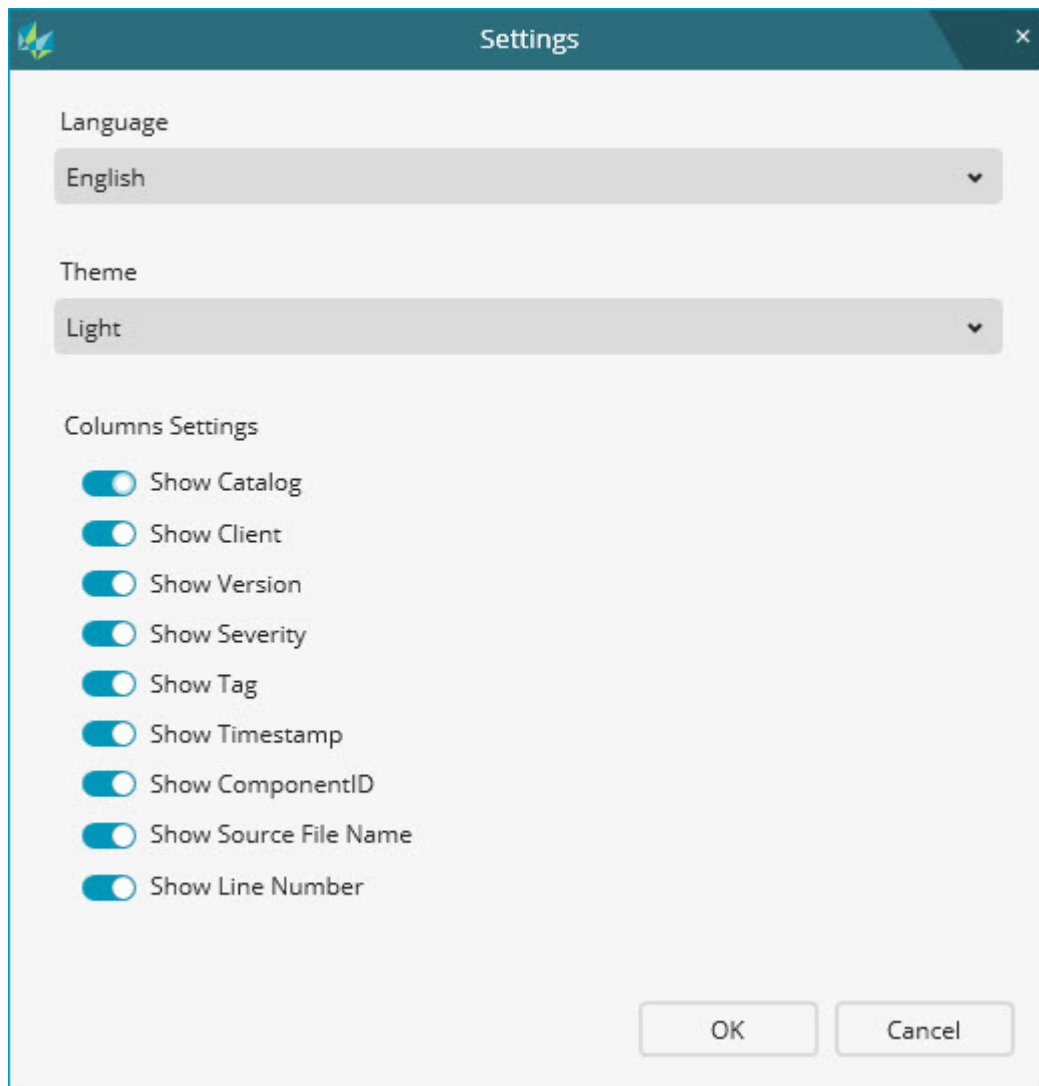
4. **Log Parser タブ**エリア - このエリアはログメッセージに関連する様々なタブを表示します。詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[Log Parser Tab エリア](#)」トピックを参照してください。

Log Parser ツールバーオプション



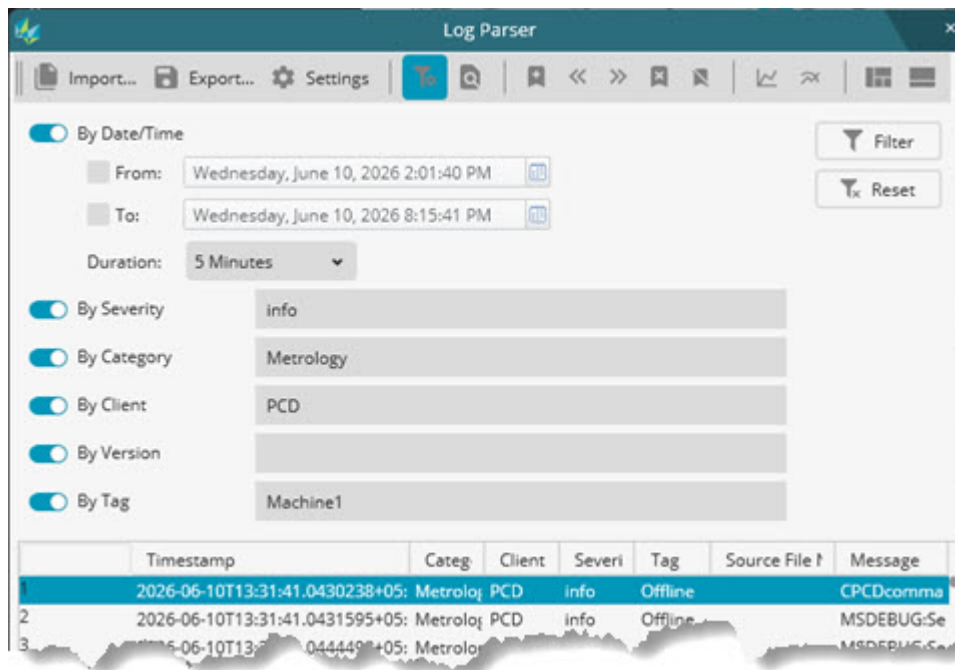
Log Parser ツールには下記のツールバーオプションがあります：

1. **インポート**ボタン - このボタンをクリックして、**[ダイアログを開く]** ボックスを開きます。このボックスを使用してログファイルを Log Parser にインポートできます。
2. **エクスポート** ボタン - このボタンをクリックして、**[名前を付けて保存する]** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスを使用してログファイルをエクスポートできます。
3. **設定**ボタン - このボタンをクリックして、Log Parser **[設定]**ダイアログボックスを開きます。



Log Parser **[設定]** ダイアログボックスから下記を実行できます：

- **[言語]** 一覧を使用して。ツールの言語を変更します。
 - **[テーマ]** 一覧を使用して、ツールのテーマを**ライトモード**から**ダークモード**に変更します。
 - **[カラム設定]** エリアを使用して、ボタンを切り替えて、様々なログメッセージカラムを表示または非表示にします。
4. **フィルターボタン** - このボタンをクリックして、Log Parser フィルターをオンにし、フィルターオプションを表示します。



フィルターのトグルボタンのいずれかをクリックして、大きな **[フィルター]** ボタンをクリックし、選択されたフィルターを有効にします。これで **[ログファイル表示]** エリアにあるすべてのログメッセージが選択されたフィルターオプションに基づいてフィルターされます。

日付/時刻によるフィルターでは、**開始** および **終了** 日付/時刻期間の設定を選択できます。対応するチェックボックスをオンにし、日付/時刻ボックスをクリックしてそれらの値を設定します。

「開始」および「終了」オプションの未使用を選択する場合、期間オプションがデフォルトで利用でき、5分に設定されます。これは選択する期間値の間しか Log Parser がログメッセージをフィルターしないことを意味します。例えば、デフォルト値 5 分のままにしておくと、最後の 5 分間のメッセージのみが保持されます。

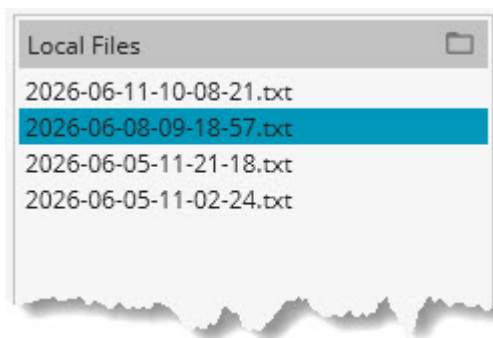
[リセット] ボタンをクリックしてすべてのフィルタリングをオフにします。

5. **検索** ボタン - このボタンをクリックして **[検索]** ダイアログボックスを開きます。Log Viewer での「検索」オプションと同様に、希望の文字列を入力すると Log Parser がすべてのログメッセージを検索します。Log Parser は **[ログファイル表示]** エリアでのユーザーの検索基準にマッチする文字列を有するログメッセージのみを表示します。



6. **ブックマークの追加** ボタン - このボタンをクリックして、選択されたログメッセージにブックマークを設定します。これを行うにはブックマークしたい列を選択し、このボタンをクリックします。Log Viewer はユーザーに行の前にある黄色いブックマーク記号によってブックマークした行を知らせ、ブックマークされた行を知らせます。
7. **以前のブックマークに移動する** ボタン - このボタンをクリックして、以前にブックマークされたログメッセージにジャンプします。
8. **次のブックマークに移動する** ボタン - このボタンをクリックして、次のブックマークされたログメッセージにジャンプします。
9. **ブックマークの削除** ボタン - このボタンをクリックして、現在選択されているブックマークされたログメッセージからブックマークを削除します。
10. **すべてのブックマークを削除する** ボタン - このボタンをクリックして、ログメッセージの現在の一覧にあるすべてのブックマークを削除します。この操作は永続的で元に戻すことはできません。
11. **GDI オブジェクトを見る** ボタン - このボックスをクリックして、Parser のタブエリアにある [GDI オブジェクト] タブを表示します。
12. **メモリ使用量を見る** ボタン - このボックスをクリックして、Parser のタブエリアにある [メモリ] タブを表示します。
13. **左パネルの切り替え** ボタン - このボタンをクリックして、[ローカルファイル] リストアップパネルを表示または非表示にします。
14. **下部パネルの切り替え** ボタン - このボタンをクリックして、[Log Parser タブ] エリアを表示または非表示にします。

ローカルファイル一覧パネル



Log Parser はデフォルトのフォルダーの場所「C:\Users\[UserName]\AppData\Local\Hexagon\LogViewer_Logs」からログファイルを読み込み、このパネルに一覧表示します。Log Parser でのファイルを開くには、ファイルを右クリックし、**[インポート]**を選択します。また、ファイルをダブルクリックして開くことができます。

[フォルダーの変更] ボタン  をクリックして、Log Parser にログファイルを見つけてほしいフォルダーの場所を変更するのに使用できる **[フォルダーを移動]** ダイアログボックスを開きます。

Log Parser タブエリア

[Log Parser タブ] エリアは下記のタブオプションを提供します：

プロパティタブ - このタブは現在選択されているログファイルのプロパティを表示します。

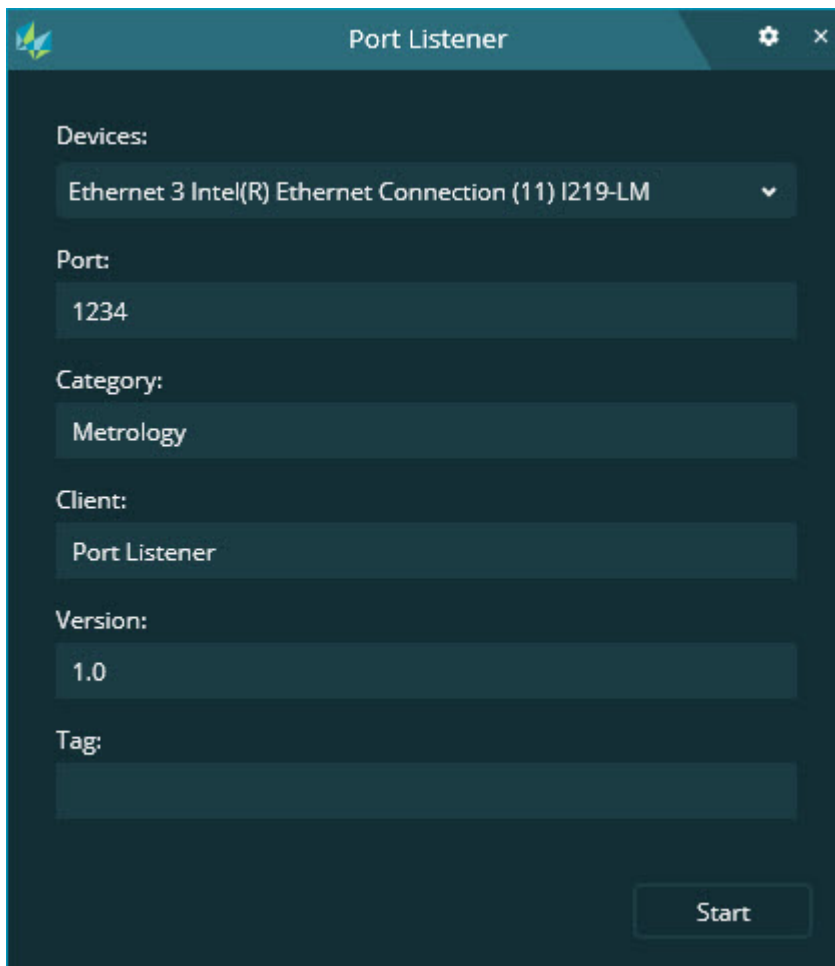
記号の結果を検索するタブ - このタブは **[検索]** ダイアログボックスにある **[すべてを検索する]** オプションをクリックすると検索結果を表示します。項目をダブルクリックすると、Log Parser はログファイル表示エリアにおいて選択された項目までスクロールしてそれを強調表示します。タブの左上隅にある **[名前を付けて保存]** ボタンを使うと、検索結果をファイルに保存できます。

ブックマークタブ - このタブはブックマークされているすべてのログメッセージを表示します。

ポートリスナー

ポートリスナーツールは、選択されたネットワークインターフェースの指定されたポート上のソフトウェアとハードウェア間のデータ通信をモニターするのに使用できるユーティリティです。このツールはソフトウェアとハードウェアコントローラ間の通信パケットを取得し、ログメッセージとして Log Viewer に追加し、ユーザーが PC-DMIS のログと一緒に分析できるようにします。

Log Viewer メニューから **[ツール | ポートリスナー]** をクリックするか、または **[詳細設定 ツール]** ページの **[ポートリスナー]** 下の **[実行]** を選択して、**[ポートリスナー]** ダイアログボックスを開きます。



[ポートリスナー] ダイアログボックス - メインページ

ダイアログボックスのメイン画面には以下のオプションがあります：

デバイス - これはシステムにあるデバイスの一覧です。ポートリスナーアプリケーションにモニターしてほしいデバイスを選択します (例えば、CMM と通信するネットワークカードデバイス)。

ポート - これはアプリケーションが FDC コントローラをモニターするのに使用するポートです。デフォルトではポート 1234 です。必要に応じてポート割り当てを変更できます。

カテゴリ - これは必要に応じてカスタマイズできるフィールドです。

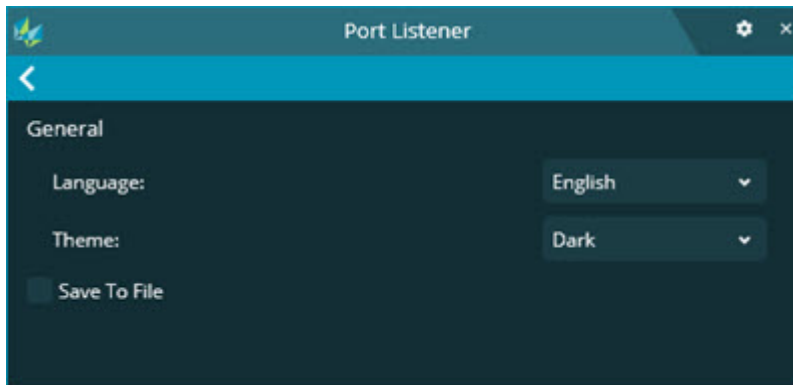
クライアント - これは必要に応じてカスタマイズできるフィールドです。

バージョン - これは必要に応じてカスタマイズできるフィールドです。

タグ - データ通信の方向を指し示すのに使用できるカスタマイズ可能なフィールドです。インバウンド (<-->) はデバイスからソフトウェアへ送信されるデータを示し、アウトバウンド (-->) はソフトウェアからデバイスへ送信されるデータを示します。

すべてのフィールドを定義したら、**[開始]** ボタン  をクリックして指定されたポートを通じたデータ通信のモニターを開始します。

[設定] ボタンをクリックして [設定] ページを表示します。



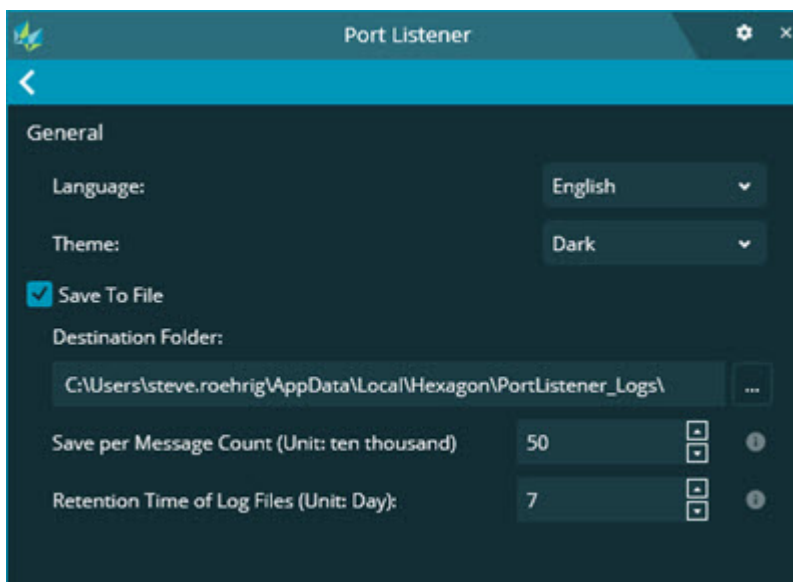
[ポートリスナー] ダイアログボックス - 設定ページ

[ポートリスナー] ダイアログボックスの [設定] ページには以下のオプションがあります：

言語 - このオプションではアプリケーションでの言語を変更できます。ポートリスナーツールがサポートする言語は 17 種類あります。

テーマ - このオプションでは**ライト**テーマと**ダーク**テーマの間で切り替えを行えます。このヘルプトピックに表示されるツールの画像は**ダーク**テーマオプションを使用しています。

ファイルに保存チェックボックス - このチェックボックスを選択して以下のオプションを表示します：



宛先フォルダー - これはポートリスナーが .txt ログファイルを保存する場所です。ポートリスナーは [メッセージ数毎に保存] オプションに設定される値に従って、またはアプリケーションがリスニングを停止するとき、メッセージを .txt ログファイルに自動的に保存します。場所を手動で入力するか、または [...] 移動ボタンを使用して場所を選択します。

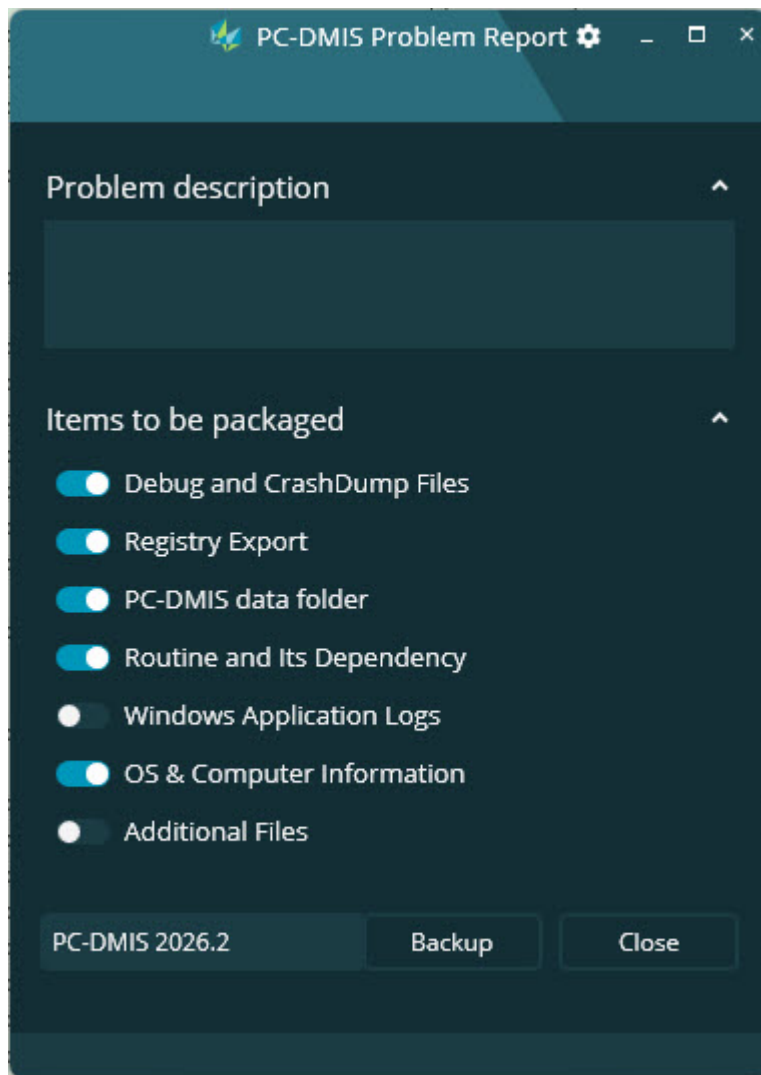
メッセージ数毎に保存 (単位: 10,000) - この設定はポートリスナーが 10,000 単位で.txt ログファイルに保存するメッセージの数です。デフォルト値は 50 (500,000) メッセージです。ポートリスナーはこのメッセージ数に達すると、メッセージを.txt ログファイルに保存してメモリから消去し、カウントを再開します。

ログファイルの保持時間 (単位: 日) - これはポートリスナーが関連する時刻/日付スタンプに基づいて.txt ログファイルを維持する日数を定義します。デフォルト値は 7 で、必要に応じて変更できます。ポートリスナーは定義された設定より早い時刻/日付スタンプを持つログファイルを自動的に削除します。これは永続的な削除であり元に戻せません。

PC-DMIS 問題レポート

PC-DMIS 問題レポートツールは、障害後に PC-DMIS 関連デバッグ情報をワンクリックで収集して、開発者の分析向けに ZIP ファイルにパッケージするのに役立つツールです。

Log Viewer メニューで **[ツール | PC-DMIS 問題レポート]** をクリックするか、または **[詳細設定ツール]** ページの **[PC-DMIS 問題レポート]** 下で **[実行]** を選択して、**[PC-DMIS 問題レポート]** ダイアログボックスを開きます。

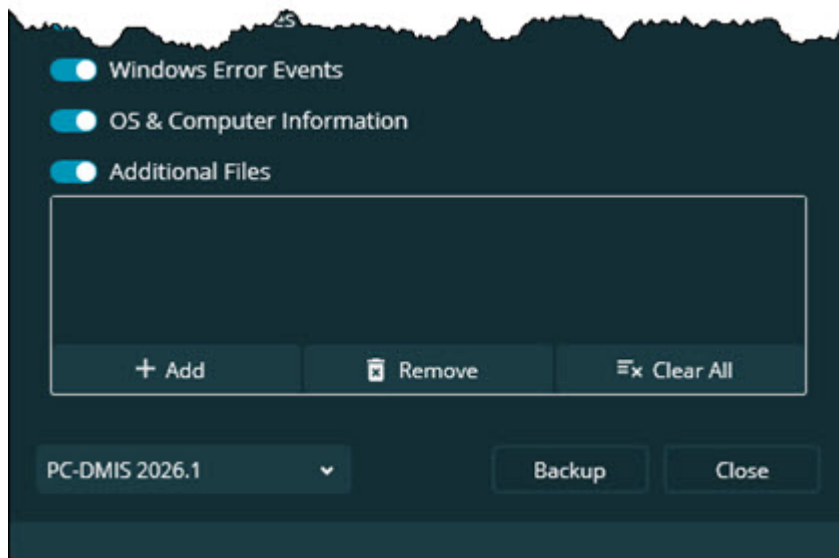


[PC-DMIS 問題レポート] ダイアログボックス

このダイアログボックスを使用して、PC-DMIS レポートファイルを選択し、選択されたファイルから成る zip ファイルを Log Viewer に作成させることができます。zip ファイルはユーザーの問題のトラブルシューティングに役立つように Hexagon サポートに送信されます。

このツールを使用するには下記を行います：

1. 問題の簡単な説明または問題を再現するステップを **[問題の説明]** ボックスに入力します。ファイルの zip を作成すると、ツールは**問題の説明**テキストから成る zip にテキストファイルを追加します。
2. zip ファイルで追加または除外したい各ファイルタイプに対してトグルボタンをクリックしてオンまたはオフにします。デフォルトでは、**追加ファイル**オプションを除いて、すべてのオプションがオンです。
3. **追加ファイル**トグルはデフォルトではオフに設定されています。アプリケーション構成ファイル、画像ファイル、動画ファイルなど、他のファイルを追加する場合は、このトグルをオンにして**追加ファイル**一覧ボックスを表示します。

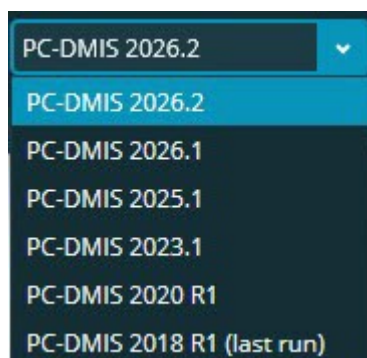


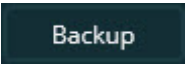
ファイルを一覧に追加するには、**[追加]** ボタンをクリックして **[開く]** ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスを使用して、zip ファイルに追加したいファイルに移動して選択します。この手順を繰り返して必要な数のファイルを追加します。

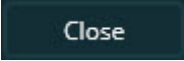
一覧からファイルを削除するには、ファイルを選択して **[削除]** ボタンをクリックし選択したファイルを一覧から削除します。必要に応じて、この手順を繰り返して一覧からその他の任意ファイルを削除します。

一覧からすべてのファイルを削除するには、**[すべてを消去]** ボタンをクリックします。

- バージョン一覧からレポートファイルを保存したい PC-DMIS のバージョンを選択します。デフォルトバージョンはコンピュータで使用された PC-DMIS の最近のバージョンです。一覧はコンピュータにインストールされている PC-DMIS のすべてのバージョンから成ります。最後に実行したバージョンは (最後の実行) によって示されます。



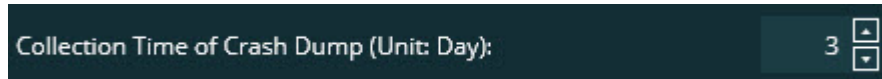
- [バックアップ]** ボタン  をクリックして **[PC-DMIS 問題レポート]** ダイアログボックスで選択したレポートファイルを指定された場所に zip ファイルとして保存します。

6. **[閉じる]**ボタン  をクリックして、**[PC-DMIS 問題レポート]** ダイアログボックスを閉じます。

説明を表示します:

デバッグおよびクラッシュダンプファイル

Log Viewer は選択された PC-DMIS バージョンに対するクラッシュダンプファイルとともに、LogViewer ログファイルから抽出される最新の debug.txt をバックアップします。バックアップされるクラッシュダンプファイルは**クラッシュダンプの収集時間 (単位: 日)** オプションで設定される値によって決定されます。



これは **PC-DMIS 問題レポート]** ダイアログボックスの **[設定]** ページにあります。デフォルト値は 3 日です。



PC-DMIS が PC-DMIS のエラーレポートツールを使用して、すでにクラッシュダンプファイルを zip 圧縮して送信している場合、Log Viewer は **[PC-DMIS 問題レポートファイルの収集]** ツールを使ってクラッシュダンプファイルにその時点ではアクセスできません。

レジストリのエクスポート

PC-DMIS バージョン 2022 およびそれ以降では、Log Viewer は下記をバックアップします:

- “C:\ProgramData\Hexagon\PC-DMIS\(\SelectedVersion)”フォルダー内の.json ファイル
- C:\Users\XXXXXX\AppData\Local\Hexagon\PC-DMIS\(\SelectedVersion)”内の UserSettings.json ファイル

旧バージョンの PC-DMIS では、Log Viewer は Windows レジストリからの PC-DMIS-関連の LocalMachine 設定と CurrentUser 設定をバックアップします。

PC-DMIS データフォルダー

Log Viewer はアクティブな測定ルーチンに関連する PC-DMIS ファイルをバックアップします。これらのファイルにはプローブ、アライメント、サブルーチンやその他の関連ファイルなどがあります。

ルーチンとその依存性

Log Viewer はアクティブな測定ルーチンとその関連ファイルをバックアップします。この関連ファイルにはプローブ、アライメント、サブルーチン、その他の関連ファイルなどがあります。

Windowsアプリケーションログ

Log Viewer は [システムイベントの収集時間 (単位: 日)] オプションで設定された値に基づいて、Event Viewer で捕捉された Windows システムエラーと重大イベントをバックアップします。

Collection Time of System Events (Unit: Day):

3

これは **PC-DMIS 問題レポート**] ダイアログボックスの [設定] ページにあります。デフォルト値は 3 日です。

OS およびコンピュータに関する情報

このオプションではオペレーティングシステムおよびコンピュータに関する情報を収集することができます。これは開発者が問題の解決および修正を調整するのに役立ちます。

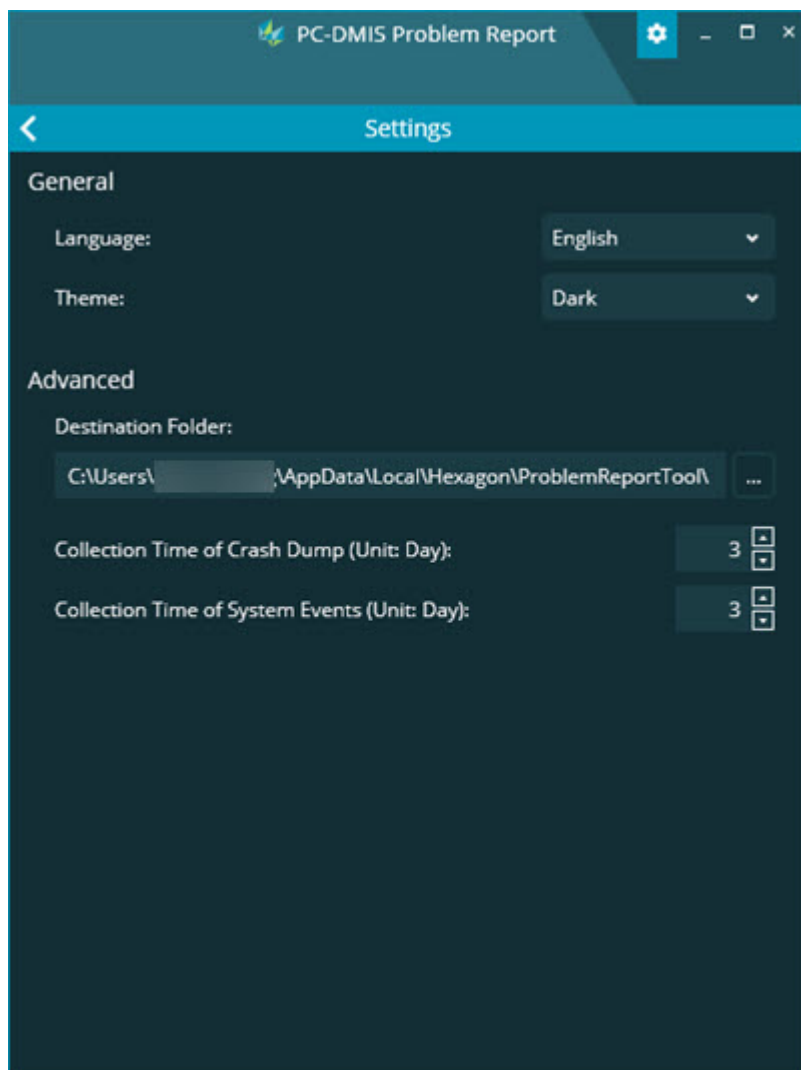
このオプションをオンに設定すると、**PC-DMIS 問題レポート**ツールはユーザーのコンピュータのオペレーティングシステムとコンピュータの詳細事項を収集して、その情報をテキストファイルに書き出します。次にテキストファイルは zip ファイルに追加されます。

圧縮された zip ファイルは下記の場所にある Users フォルダーに保存されます。ここで、<user name> はコンピュータに現在ログオンしているユーザーの名前です：

"C:\Users\<user name>\AppData\Local\Hexagon\ProblemReportTool"

PC-DMIS 問題レポートツールはアプリケーションとシステムイベントの両方を記録します。システムイベントにはシステム警告やその他のシステム関連イベント情報などがあり、問題のトラブルシューティングに役立つ場合があります。

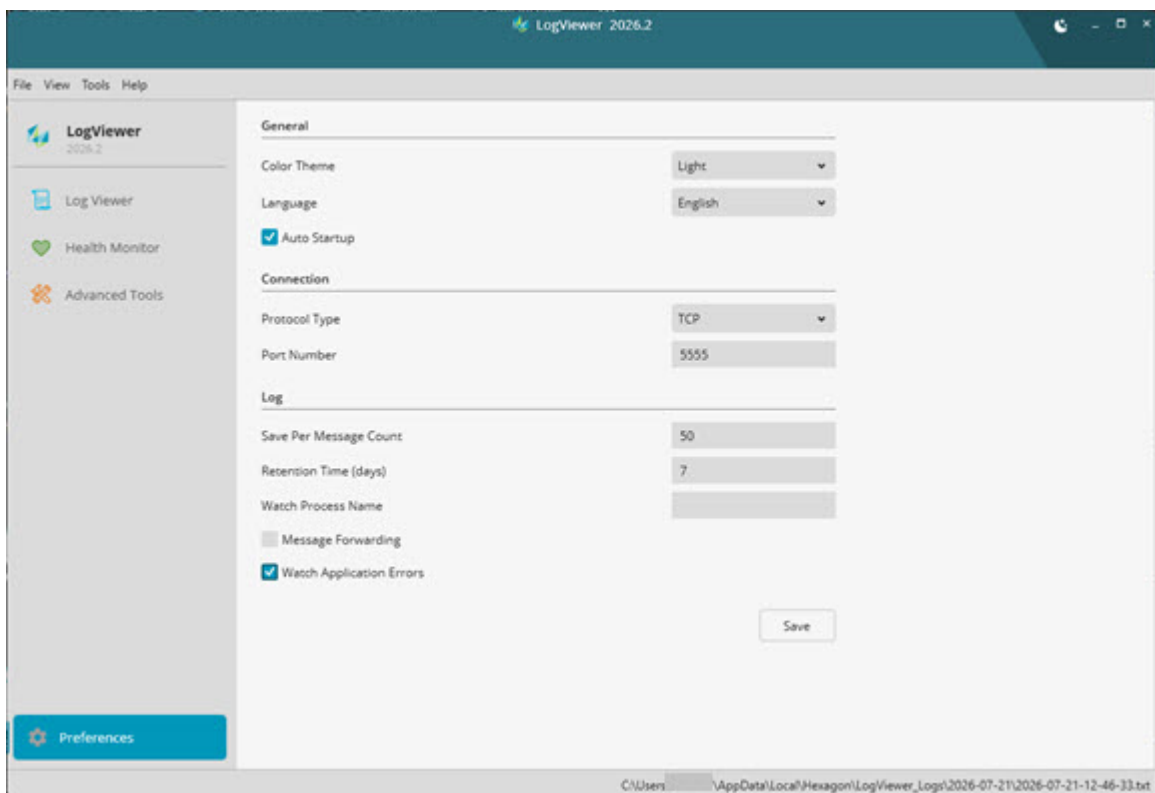
zip ファイルが保存される場所を変更するには、[**PC-DMIS 問題レポート**] ダイアログボックスの上部にある [設定] ボタン  をクリックして、[設定] ページを開きます。[詳細] セクションの [宛先フォルダー] ボックスに新しいフォルダーの場所を入力します。また、[宛先フォルダー] ボックスの右側の [...] ボタンを使用して、[フォルダーに移動] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスを使用して新しいフォルダーの場所に移動して選択することができます。



詳細断面を表示する [Log Viewer 設定ダイアログボックス]

仕様

ナビゲーションペインで **[環境設定]** を選択して、**[環境設定]** ページを開きます。このページで Log Viewer の設定を構成できます。



一般エリア:

色テーマ一覧 - この一覧を使用して、Log Viewer をライトモードまたはダークモードのいずれかで表示することができます。

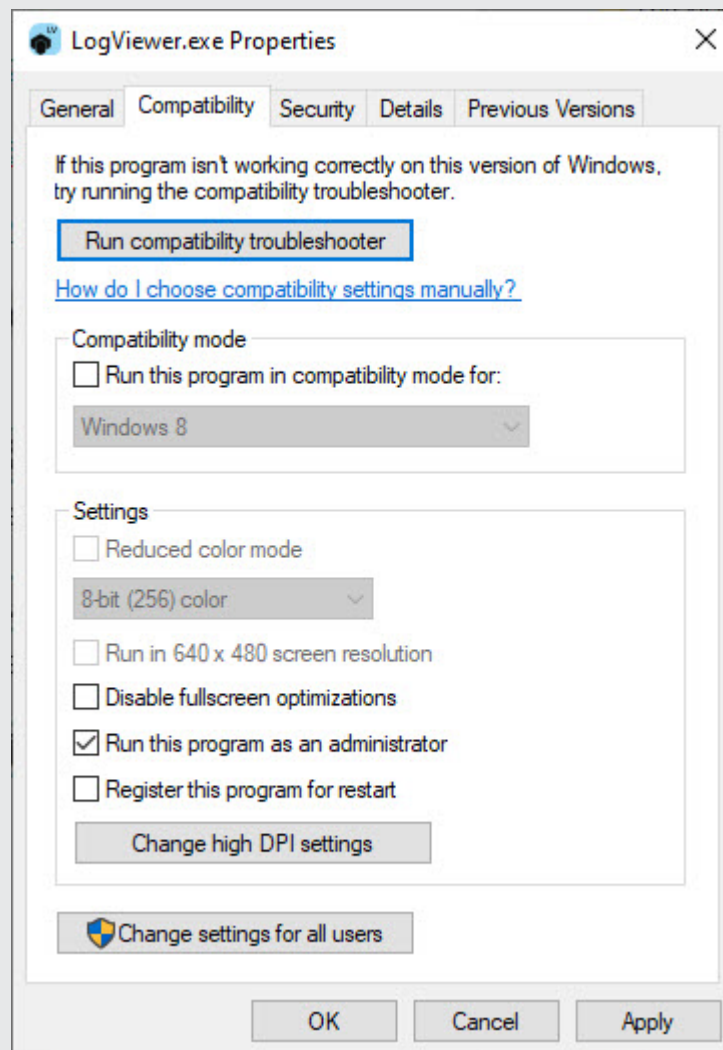
言語一覧 - この一覧を使用して、Log Viewer の言語を利用可能な 17 言語のいずれかに変更できます。

自動スタートアップチェックボックス - コンピュータ再起動後に Log Viewer が自動的に静かに実行されるようにしたい場合、このチェックボックスをオンにします。



Log Viewer を管理者として実行し、特定の設定を利用可能にすることができます。これを行うには下記を実行してください:

1. Log Viewer インストールフォルダー (C:\Program Files\Hexagon\Log Viewer Variable "ProductVersion" is not defined64-bit) から、"LogViewer.exe" ファイルを右クリックし、**[プロパティ]** オプションを選択して、**[LogViewer.exe プロパティ]** ダイアログボックスを開きます。



2. **[互換性]** タブをクリックします。
3. **[設定]** セクションで **[このプログラムを管理者として実行する]** チェックボックスをオンにします。
4. **[適用]** ボタンをクリックして変更を保存し、**[OK]** ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

接続 エリア:

プロトコルの種類 一覧 - この一覧を使用して通信プロトコルの種類を選択できます。

ポート番号 ボックス - このボックスを使用して、受信メッセージに対するポート番号を入力することができます。

ログ エリア:

メッセージカウント毎の保存 - この設定によって Log Viewer が 10,000 単位で保存するメッセージ数を定義できます。デフォルト値は 50 または 500,000 メッセージです。Log Viewer はこのメッセージ数に達すると、メッセージをログファイルに保存してメモリから消去し、カウントを再開します。



[自動保存] オプションがオフのときにのみ**ファイルの自動保存設定**の単位値を変更できます。**自動保存**をオフにする方法については、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントの「[メニューおよびツールバーエリア](#)」トピックを参照してください。

ログファイルの保持時間 (日) - これは Log Viewer が関連する時刻/日付スタンプに基づいてログファイルを維持する日数を定義します。デフォルト値は 7 で、必要に応じて変更できます。Log Viewer はこの設定で定義された値より早い時刻/日付スタンプを持つログファイルを自動的に削除します。これは永続的な削除であり元に戻せません。

プロセス名を見る ボックス - このボックスを使用して、Log Viewer にモニターさせたいプロセスの名前を入力します。

メッセージ転送 チェックボックス - このチェックボックスをオンにし、IP アドレスを入力すると、Log Viewer は受信されたすべてのメッセージを IP アドレス宛に転送します。これは協力的なデバッグ作業に役立ちます。



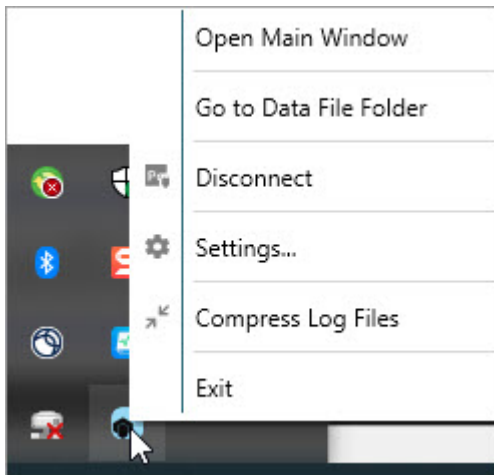
デュアルアームマシンでは、このオプションを使用して アーム 1 とアーム 2 の両方からの Log Viewer メッセージを簡単に結合することができます。

閲覧アプリケーションエラー チェックボックス - このチェックボックスを選択して、システムイベントを閲覧 (監視) します。

保存 ボタン - このボタンをクリックして変更を保存します。

付録 A - トレイオプション

画面右下にあるシステムトレイの [Log Viewer] アイコンを右クリックして、下記の Log Viewer トレイメニューにアクセスします:



Log Viewer のシステムトレイメニューオプション

メインウィンドウを開く - このオプションをクリックして、Log Viewer アプリケーションのメイン画面を表示します。

データファイルフォルダーに移動する - このオプションをクリックして、Log Viewer のログファイルを含むフォルダーの場所へのファイルエクスプローラウィンドウを開きます。

接続 / 切断 - このメニューオプションをクリックして、Log Viewer メッセージのログのオン/オフを切り替えます。メッセージのログを有効にすると、メニューには [切断] オプションが表示されます。メッセージのログを無効にすると、メニューには [接続] オプションが表示されます。

設定 - このオプションをクリックして、[設定] ダイアログボックスを開きます。[設定] ダイアログボックスについて詳しくは、PC-DMIS Log Viewer ドキュメントにある「[タイトルバーエリア](#)」トピックを参照してください。

ログファイルの圧縮 - このオプションをクリックして、最近の 24 時間のログファイルを zip 圧縮して保存します。また、Log Viewer ツールバーにある [ログファイルの圧縮] ボタン  をクリックします。

終了 - このオプションをクリックして、Log Viewer アプリケーションを終了します。

索引

L

Log Parser 23, 28

 タブエリア 28

 メイン画面 23

Log Parser タブエリア 28

Log Parser パネル 28

 ローカルファイル一覧表示 28

Log Parser メイン画面 23

Log Viewer 39, 18, 23, 7, 7, 20, 19

 Log Parser 23

 Log 表示エリア 18

 タブエリア 19

 メイン画面 7

Log Viewer メイン画面 7

ステータスエリア 20

ステータスメッセージ 20

タブエリア 28, 19

トレイオプション 39

トレイメニュー 39

ナビゲーションペイン 18

ヘルスマニター 20

ポートリスナー 28

メイン画面 23, 7, 20

 Log Parser 23

メッセージエリア 20

メッセージログ表示エリア 18

ローカルファイル一覧表示パネル 28

ログファイルの圧縮 22

ログ表示エリア 18

問題レポートツール 31

環境設定 36

設定 36

詳細ツール

 ポートリスナー 28

 ログファイルの圧縮 22

 問題レポートツール 31

詳細設定ツール 22

